

# 第59回日本クラフト展 — STORY —

## 招待審査員からあなたへ

### 秋元 雄史 (AKIMOTO Yuji)

東京藝術大学大学美術館館長・教授／練馬区立美術館館長)

略歴

1955年：東京都生まれ  
2004年～2007年 地中美術館館長、ベネッセアートサイト直島・  
アーティスティックディレクターを兼務  
2007年～2017年3月 金沢21世紀美術館館長  
2013年4月～2017年3月 秋田公立美術大学客員教授  
2015年：東京藝術大学大学美術館館長・教授  
2017年：東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会  
文化・教育委員会委員を務める



「STORY」が今年のタイトルだ  
作品の主題の中に「STORY」を込めるということはもちろんだが、  
他にも制作のプロセス、自分の工芸への向き合い方や関わり方の中にも  
それぞれの「STORY」があるだろう  
どんなSTORYを展開してくれるのだろうか。楽しみである

### 唐澤 昌宏 (KARASAWA Masahiro)

東京国立近代美術館 工芸課長

略歴

1964年：愛知県名古屋生まれ  
1990年：愛知県立芸術大学大学院美術研究科研修生修了  
1991年：愛知県陶磁資料館（現、愛知県陶磁美術館）学芸員  
2003年：東京国立近代美術館主任研究員  
2010年：同工芸課長  
2019年：「The 備前一土と炎から生まれる造形美」展  
（企画構成、2020年9月27日まで7会場を巡回）



工芸的、あるいはクラフト的という既成の価値観に縛られることなく、  
作り手がそれぞれに素材と向き合い、確かな技を駆使した  
意欲的な取り組みを楽しみにしています  
それこそが各自が描くSTORYになるはず

### 田中 智子 (TANAKA Tomoko)

t.tide 代表

略歴

1980年：慶應義塾大学経済学部卒、同年（株）三越入社  
2004年：商品企画兼ライフスタイルマーケティング部長  
2006年：リビング商品部長  
2011年：銀座三越リビング、アート関連部長  
2018年：（株）三越伊勢丹定年退社 同年 t.tide 代表  
京都、滋賀産地伝統工芸のプロデュース、石巻、長浜再開発店舗づくり



AI やロボットの時代だからこそ、データ集積を超えた意外性や創造性、  
手で創られることの重要性が注目されています  
タイトル「STORY」をキーワードに技術、素材、デザイン、感性の物語を  
見る人使う人に説得力を持って表現されることを期待致します